

平町の地下採掘

一先づ難を免る

今後は二ヶ年後に備へ

専門家に囑し地質鑑定

這般平町新川以南の地下採掘出願として喧しい反對に遭遇した磐城炭礦は此程後藤仙臺監督局長の調停に依り「採掘」を

從前通りの「試掘」に轉願し來つたので昨日平町は町會を開き採掘に非らざる限り現状維持に變りがないとの見地に基き右の試掘願を公益上支障なしとして

満場一致 其筋の諮問に答申した、右に依つて平町は一先づ地下を採掘さるゝ難より免れ一安塔の態であるが同試掘権の有効期間

の満了する二ヶ年後には再び採掘を出願し來る模様があるので平町はそれ迄に

最後の 態度を決する必要上今後専門學者及び技術者の鑑定調査に基き被害の有無に關して科學的の立證を求むる事となつた、尙平町

市街地の 地下に採掘出願中であつた小田吉次氏は後藤局長と會見の結果同市街地が既に「公害地」として法律的に採掘不能の場所である事を確め自廢的に採掘願を取下げた由

佐藤代議士の

歓迎會を開く

十日平館に於て

政民兩派有志の發起

を望む由

萬國議員、商事會議政府代表として歐米に特派され無事に任務を盡して既記の如く去る廿八日歸朝した代議士佐藤庄太郎氏のため左記有志が發起となり来る十日午後一時より平館で盛大な歓迎會を開き同氏の歐米上産談を聴くこととなつた、會費は五十錢で一般の來場

- 井上茂作 石川徳壽 萩原義雄 蓮沼龍輔 小野晋平 金成通 川崎文治 田子健吉 野崎滿藏 草野三郎 古川傳一 小松章 青沼鋒太郎 安島重三郎 木村清治 比佐昌平 關内正一 鈴木反三郎

煙草表彰

本郡受賞者

昨日水戸市に舉行された水戸地方專賣局の本年度煙草販賣獎勵表彰式當日に於ける本郡關係の受賞者左の如くである

- (二等) 平藤倉うめ 小名濱佐藤庄次(三等) 植田酒

御誕生を壽ぎ

祝賀氣分横溢

賑やかな祝宴と旗行列 夜は提灯行列の大盛観

親王殿下の御誕生を壽ぐ平町は祝砲を合圖に本日午前十時から縣社々前に遙拜式を執行同十一から聚樂館の祝賀會に移り青沼町長、井上議長の祝詞あつて中島監督判事の發聲に依り萬歳三唱、紅裙連の餘興に和やかな空氣を漲し一方街頭には小學兒童の旗行列蜿々と街頭を練り今晚は提灯行列が祝賀氣分を横溢せしめる

電報増加

鰯漁と炭況で

平郵便局で去月中に取扱つた電報数は發信、着信、中絶を合して總數二萬七千七百三十八通、此の料金は八百九圓五十五錢で前年同期の二萬六千五百六十三通、金額七百六十二圓九十三錢に比すると取扱数は四分四厘金額も六分九厘の増加を示して居る、鰯漁業で炭礦方面の打電が増した爲めである

平商新築委員を

昨日町會で決定

既報平商業學校々舎の改築に關しては商友會の陳情運動奏効し昨日の町會に於て馬目雅治氏提出の平商新築調査委員設置の動議が成立し井上議長指名を以つて左記の如く委員を決定した

- 萩原義雄 花澤久一郎 佐々木龍若 關内正一 井上茂作 多田井笑次郎 馬目雅治 吉田寅之助 吉田金作 野崎滿藏 坂本隆藏 鈴木光吉 綠川喜三郎

七五三

お祝の御答禮に

かまぼこ 折詰を

御進め致します

紅白かまぼこ

細工物其の他色々

平町一丁目

電話一四一番

井美良 内郷草野彦太郎 四倉佐藤榮喜 上遠野後藤義弘 上小川兼本要之助

△入浴後湯ざめさせないやう御注意下さい△運動後汗をかき急にひやさない様に△睡眠不足や過度の勉強ならぬ様△日光浴をつとめて行はせ肝油を服用せしむる様

第一學級増加 平第一小學校へ來春入學する児童數は百九十七名あり學級を今春通り三組とすれば一組當り六十六名強の多數となるので一學級増加は止むなき模様である

植田講堂増築

植田町は去る二日町會を招集した結果三萬一千圓で小學校及び講堂を増築することに決定、近く財源を起債に求め敷地買収を開始する

平職界紹介所報告

- △人を求める方 回入を求め方
- △女中 廿才迄 尋卒 月給六圓
- △トラツク助手 廿五才迄 月給十圓
- △農夫兼醬油配達 廿五才迄 尋卒 月給五六圓
- △粕 夫四十才迄 尋卒 月給十圓
- △出前持 廿才迄 月給四五圓
- △出前持 廿才前後 給料面談
- △回職を求むる方 回職を求むる方
- △集金人 卅四才 中三卒

學校の心配

各家庭に注意書

平町各小學校は健康週間を機會に近づく寒さに向つて児童が感冒による缺席者が續出せぬ警戒し左の如き希望を各家庭に發した

△學校の往きかへり又はお掃除の際はマスクをさせて下さい△外出後は食鹽水でうがひをする様すゝめていただきます

風を引なく

胃による缺席者が續出せぬ警戒し左の如き希望を各家庭に發した

社掌兼任々命 平町八幡小路縣川飯野八幡神社々司飯野盛男氏は今回平窪村々社熊野神社並に同村諏訪神社の社掌に兼任さる

平鐵劍道大會 平鐵道俱樂部武道班は今回劍道部を創設したのでその第一回購買劍道大會を來る八日

電話一四一番

仲々低能處か

自癡の歸りに

老いた抱主を

尻目に逃走!

常習犯かと酌婦の行方嚴探

中

郷軍後援會

會員大募集

支會等原氏來平

内郷村大字宮字高坂料理業大串米藏(五)万酌婦後藤タツ(六)は病氣のため働けずとて昨三日午前十一時頃平署に自由癡業を願ひ出たが主人米藏を呼び出し事情聴取した處タツは幾分低能と判明前記主人と談合の末四日午前十時を期し内郷巡査部長派出所で前借金四十圓の借金精算をすることに一先づ折合ひを付け歸途に着いた途中にタツは老齡の主米藏の隙を窺ひ何れにか逃走行方不明となつた同女は低能を装つた前借踏倒しの常習者ではないかと嚴探

鮮人土工が

賃銀値上の要求

平署の警戒に難無く解決か

江名町大字中之作字折戸地内海岸埋立工事は去る四月以來工事進行順調に進行中の處二、三日前より鮮人飯場に不穩の空氣漲り同飯場土工廿名は朝鮮生れ山本一郎事仲重慶(三)を頭目として結束し現在本番九十錢の賃金を小マワリ同様

一圓十錢に値上げの要求をして来たが工事經營者の小野晋平氏が合會縣會で出福留守中のため回答の遅れたのに激昂昨三日同事務所に大舉殺倒要求の結果險惡の狀勢に立至つたので

急報に 接した平署から長澤特高主任、齊藤、柴

兩司法主任以下同署新選組の猛者が急行、土工爭議團の内部に社會大眾黨の組織あることを探知、事件を重大視して嚴重な警戒と共に不穩分子の一掃を圖つてゐるが

目下の 處前記山本外廿名の鮮人土工以外同職場百餘の男女土工には何等波及の模様ないものと見られ長澤特高課主任が奔走して本日同工事事務所に勞資兩者が會見事なく解決の模様であつた

狂亂の大年増

白晝街の武勇傳

子供相手の喧嘩に

菓子屋が御難

平町堀之内一七紙付捨ひ業渡邊千代三郎内妻前橋タツ(四)は三日午後二時半頃同町六丁目地内縣道を通行中附近の子供達に悪口を言はれたのに憤慨、子供等を相手に暴れ廻つた末同町八五橋久左衛門方店頭の板ガラス十一枚(價格一圓卅錢)を破壊したあげく今度は七丁目一三菓子商歌川久三郎方陳列ガラスを滅茶々に打ちこはし尙も暴れまはるのを平署に檢舉された

上湯長谷 藤原 渡邊
江名 中ノ作 豊簡 勿來 同驛前 上遠野 荷路夫 三坂 八莖 川前 草野 白水 内郷 上平 西小川 合戸 平新川町 同紺屋町 同胡摩澤 好

忙しい歳末に

平局が大馬力

二日からの努力週間に

公衆サービスして

歳末繁忙期に入つたので平郵便局は去る二日より一週間を局員の努力週間として公衆サービスの向上、事故絶滅、規律嚴守、時間勵行等を實施して居るが更に従業員の士氣振作を計る爲め局員から標語の懸賞募集を

第三校書方展 平第三小學校は来る廿三、四の兩日生徒の學期末書方展覽會を開き各學級毎に優良品八点を選定して全校生に見學せしめ翌廿五日には午前

明日の天気

今晩は北西の風 晴曇半す明日は北西の風 天気良し

今晩の部

後六〇〇 子供の時間
奉祝童謡唱歌大會 東京
札幌仙臺名古屋松江熊本
大阪
後六二五 基礎英語講座
(三十八)岡倉由三郎
後七三〇 謡曲鉢ノ木梅

明日の部

若萬三郎他
後八〇〇 浪花節 日本
後八三〇 有りの東家樂燕
神樂吉住小三郎他
後九三〇 時報 ニュー
報 明日の歴史 氣象通
番組豫告

問 山田 小湊 高久

佛前に暴れる

破戒僧が捕る

鱈腹飲酒して奥の手

山形縣山形市上町町生れ當時住所不定加藤佐助(四九)と云ふ元僧侶は一日十時頃内郷村大字綴字一ノ坪料理店新つた車山口はま方に登樓酒肴代六五錢を支拂はず逃走捜査中であつたが亦々三日午前十一時頃同所酒類雜

九月廿日午前三時頃岩手縣釜石沖で流網漁撈により秋刀魚一萬尾を捕獲したので農林省水産局漁業監督技師大島春三氏に告發され秋刀魚漁業制限に關する漁業法違反により船主の加澤一造氏が今日平區より略式罰

補裝完成! 兩除、日除に道路完成! 仲縮自在の敷島のヒヨケを

金三十圓に處された
△石城郡小名濱町大字小屋の内三九漁夫馬 上牛太郎(四八)同町古港十七雜貨商志賀清次郎(四三)同町百十漁夫吉田芳之助(三三)錦村昭和人絹工場第一寄宿舎内小野一(三五)の四名は去る八月十日前記馬上方で十丹賭博を開張し今日平區より略式罰金各二十圓に處された

無事故の 郡下三等局

平郵便局が本年七月から九月迄の三月間、郡下三等局の郵便事務取扱無事故局は左記廿五局であると

急報に 接した平署から長澤特高主任、齊藤、柴



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島桂史

第二百九十一回

生者死者 (七)

群衆は、進行する馬車にぞろ／＼ついてくる。民族精神がいま群衆の心理を波濤のやうにたかぶらしてゐる。商人、農夫、諸生、失業浪人たちにまじつて大志賀をおさへやうとする巡察たちまでが、もう、自分たちの任務をわすれたかのやうに、大志賀は助太刀の本願を忘れて、一段と聲を張上げた。

『よいか、漢學は支那独自の土地と民族が生んだものだ。西歐思想はながいあひだ牧畜生活をしてきた、残忍な個人本位の本能主義だ。しかも絶えず大陸を移住して来た不定の流浪民族の利我主義のけだもの、感情だ。よいか日本はこの孤島に幾萬年も定住しその生活は農と漁業本位まで一度も民族移動や牧畜生活をやつたことがない。すなはち定住の家族主義の民族だ。よいか日本民族だけがほんとうの人間、特に神に近く他民族はみんなけだものに近い。日本民族は神人で、彼等は

ことごとく獸人だといふことを、はつきり信じたいのだ』

いまはもう民族意志感情の昂奮に、大志賀はおろ／＼と新しい指導者の地位にあるものごとく、群がる人々に、熱情をぶちまけるこ



とををしまなかつた。そして、この車上の説法に時を費しつゝ、やがて銀座尾張坊まで往けることをよろこんだ。大志賀の快氣焔を往還にバラまきながら馬車は群衆のあひだるぬふてゆく。

いや、いまはもう、無人の境を往くやうであつた。大志賀はウエルズの胸に七首を突つてながら、いよいよ冷静な顔容で、車上の説法をつづける。

『よいか、みんなきけい。ちかごろ政治する先覺者づらがよく皇道、王道を説いてゐる。王道は日本には必要がない、いや發生しないものだからいはいが皇道、これをいつてきかせてやらう。よいか、易撃辭傳といふ書物に——一陰一陽之道といふ之を繼ぐ者は善、之を感ずる者は性、仁者は

然はこの理法をぶちこはしてしまふ。そこに不斷の戦ひがあるのだ。陰陽の變轉からそこに差別を生じ、同じ人間でも、米でも麥でも出来不出来が生ずる。ある者は富みある者は貧する。ある者は子々孫々まで繁榮し、ある者は一代にして絶滅する。つまり一陰一陽ではなくて、一陰二陽となり三陰五陽となつたりするのが常だから、道はそこにまづつ作られるものではな

だ。空想であり、あこがれであるのに過ぎない』

——うわア……

といふ聲が、やはり起るしかし、もう、大志賀の辻説法がのみ込めなくなつて

きた。しかし大志賀として はかつて副島種臣等と研究し議論しあつてきたこの原利日本の講釋を、この機械にこそ、民族大衆の胸につたへすには措かなかつた。

『よいか、日本の皇達はまつたくこれと異なる。皇道の文字は日本の皇道主義のころではなないので。たまた／＼漢字をかりて表現したに過ぎん』

冬の通學服賣出し



平野洋服店

中學生用 六号 四四〇〇
國防色 七号 四四二〇

黒小倉服 A六号 三三〇五〇ヨリ
特A六号 三三〇八〇ヨリ

別注文 國防色 五五〇均一
特A黒小倉 六四二〇均一

室内を改造して

石川の食堂…開始致しました

何卒御愛顧の程を……

食堂献立

牛 飯	御一人前	三十	錢
上 酒	新香つき	三十	錢
特製	石川の牛井	二十	錢

外御好みに依り調製仕り候
女中御心付け御辭退致し候

ドーゾ氣分の良い食堂で御手軽に御家族同伴の上御試食下さいませ

忘年会、新年會、會合は
特に御相談に應まじす

牛肉御料理 石川亭

電話 四三番

祝お三五七

お子様の靴

常に新型! 豊富な良品! と御評判の

キクチ靴店のサービス

是非お買い上げ下さい

平野停車場通り
電 六五九番

専門
産婦人科
花柳病科

井坂醫院

平町田町 電話五五九番